



新たな構成の市議会がスタートし、斯波元気は5期目を務めさせていただくこととなりました。

皆様のおかげで、前回の最下位当選から順位を上げて再選することが出来ました。

(土俵際からのうっちゃり決めました!! ありがとうございます)

お寄せいただいた信頼を裏切らないよう、これからもしっかりと働いていく所存です。



## ～感謝～



5期目、皆様の信頼に4年間をかけてこたえてまいります

下妻市議会議員 しば元気

### 道路等の草管理について

### 一般質問

質問) 県道、河川の堤防等の草管理について、予算の減額は無いのか? 除草の相談等が増えていないか?

要望) 県道雑草の管理徹底、堤防等の草管理の抜本的な対策を担当組織に要望願う。

答弁)

【県道】

予算=例年通り、相談=10月末現在で35件(今年の倍以上)  
県道雑草の管理徹底の要望伝えます。

【河川(下館河川事務所管轄)】

予算=例年通り、相談=10月末現在で2件(去年は1件)  
河川について防草シートの設置等は河川法等の問題あり不可  
草管理の抜本的な対策の要望伝えます。

走行中の車と車道を歩いている歩行者が接触しかける事例を私自身が体験した。近年、県道歩道に雑草が繁茂し歩行者が通れないという状況を見受ける。また、鬼怒川堤防の草管理を市民が行っているが非常に大変との声を聞いた。それらについて質問した。




市内県道の様子



2023年夏

4期目に取り上げてきた質問について、検討する等の答弁があったものを再度検証しました。

テーマ	現状	今回の質問と答弁
<b>田んぼダム</b>	前回答弁) 治水対策・地域防災として有効、意義が高い。しかし、地権者・耕作者の理解と協力が不可欠・広域の取組が必要。 前問(質問以降) 各種研修会等に参加、情報収集と説明をしてきた。	質問) 茨城県内でも実施の機運が高まってきている。 <b>下妻市で旗を振って茨城で進めていただきたい。</b> 答弁) 地元の理解を十分踏まえた上で広域的に働きかける。
<b>車中泊避難 民間との災害協定</b>	車中泊を含む災害協定締結の実績) <b>株式会社ダイナム</b> と協定締結 市開発公社所有地は水害以外で車中避難所となり得ると考えている。 <b>候補地の拡大について、今後も調査、検討</b>	質問) 下妻市は車中泊避難を正式な避難方法と認識するに至ったのか? 答弁) 有効な手法の一つ、今後も研究要望) 適地の把握・キャンピングカー等所有者へのPR・エコノミー症候群の対策等含め検討いただきたい。
<b>犯罪被害者 支援条例</b>	答弁) 研修や被害者家族の講演会などに参加し、犯罪被害者等支援についての理解を深めている段階、引き続き調査研究し、条例制定を検討する。	要望) いばらき被害者支援センターと連携して、実効性のある支援体制の構築を進めていっていただきたい。
<b>子育て支援 窓口の看板</b>	現状) 統一的なデザインにより、子育て支援課窓口につり下げ看板とし設置。  <b>現在の看板</b>	要望) 分かりやすくして親しみやすい <b>一目で窓口と分かる看板の掲示</b> を求める。  <b>要望のイメージ</b>
<b>サンビー千 事業者の公募</b>	質問) 公募事業者の辞退から1年半、再公募を方針とするということを一般質問で確認してから8か月以上経つ、前に進んでいないという印象、どうなっている?	答弁) 事業実施可能性のある業者がいなければ再公募をしても同じ、探している。 質問) <b>公設民営(行政が施設を整備)での公募を考える時期ではないのか?</b> 答弁) 議員の意見は県のほうに伝える
<b>原発避難計画の 収容人数(スフィア基準)</b>	現状) 県規準が1人当たり面積2平米から3平米に変更された。 (感染症対策の強化、パーティションテナント等の資機材を十分に活用していく)	質問) 下妻市の避難者受入れ人数は、国際基準である <b>スフィア基準を採用すべき</b> 、スフィア基準と現在の県基準の受入れ可能人数と比較して示せ。 答弁) 3平米(県規準)で約7,000人、3.5平米(スフィア基準)で約6,000人。

## 市民の声から

皆様から頂いた声をもとに質問いたしました。

質問) 新庁舎周辺整備を進める中で、**非核・平和宣言都市と交通安全都市のモニュメント**はどうする予定なのか?

答弁) 旧本庁舎の解体と合わせ撤去する予定(令和6年度末までの完了予定)だが、**何らかの方法により発信したい**(新庁舎懸垂幕の掲示など)

質問) **自転車ヘルメット購入時に市の補助**をすることができないか?

答弁) 複数の自治体がヘルメット購入に係る補助事業を実施、検討している補助の効果や課題などについて調査研究をしてまいりたい。

懸垂幕に提案実現した「**ゼロカーボンシティ宣言**」が掲示されています

